

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

事業環境や顧客ニーズ、企業価値等のあらゆる変化に対応していくため、課題解決に向けた戦略・施策を積極的に実施

売上高
300億円

営業利益
24億円

営業利益
22.5億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業環境の変化に適応

パッケージ製品や汎用的なサービスへの対応に取り組み、新領域へ挑戦。IT人材確保のため海外人材活用を推進

3. サステナビリティ経営推進

情報技術提供による利便性向上と、健康経営・ダイバーシティ・CSR等の取り組み強化でステークホルダーの持続可能性に貢献

2. 特化型SEの育成推進

個々の技術力やプロジェクト管理能力に特化したスペシャリスト育成。教育体制強化と人材開発投資を実施

4. 信頼関係強化で顧客貢献

ワンストップサービス提供で信頼関係強化。Sler案件の堅調推移を維持しつつ、顧客事業戦略理解を深化

③ 対処すべき課題

① IT人材確保と技術対応

- ・ 生成AI・IoT等の新技術への迅速な対応が急務
- ・ 国内人口減少下でのIT人材確保が困難化
- ・ 独自開発維持とパッケージ活用のバランス取得

② 人材育成と能力向上

- ・ 業種業界に特化したノウハウ持つ人材育成が必須
- ・ プロジェクト管理能力の強化が必要
- ・ ナレッジ蓄積・共有による全社員の効率的な能力向上

③ プライム案件の計画的拡大

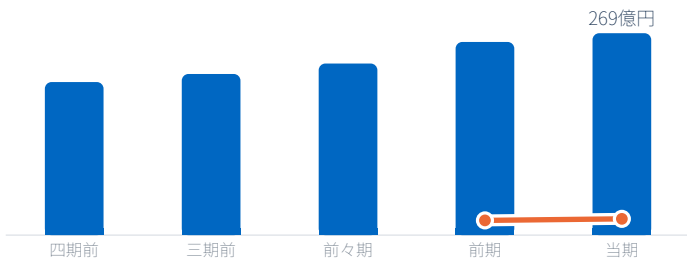
- ・ 一部案件での工数超過が拡大を阻害
- ・ 製品開発投資と海外進出の推進が重要
- ・ Sler案件増加とプライムの事業バランス取得

面接で使えるポイント

- ・ 中期経営計画BEIT50で2027年6月期300億円売上目指すグローバル展開と、特化型SE育成推進への貢献意欲が評価材料
- ・ 生成AIやIoT等の新技術対応と、独自開発力維持のバランスを取る製品開発に携わりたい強い関心
- ・ ステークホルダー全体のサステナビリティに配慮した企業活動と、顧客事業拡大への貢献をビジネスの基本とする経営姿勢

証券コード 4826

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
269億円営業利益率
8.1%財務健康度
75点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
593万円

情報・通信業内 422位/592社

平均年齢
38.5歳

情報・通信業内 283位/593社

平均勤続
13.4年

情報・通信業内 59位/593社

女性管理職
14.4%

情報・通信業内 177位/373社

男性育休
50.0%

情報・通信業内 267位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)C I J 【4826】：決算情報

